



こんにちほ
じょう
城

日本共産党

堺市議会報告

勝行です

2007年11月/No.26号
南区美木多上322
Tel 297-1777
日本共産党堺市議団
地域連絡事務所

国保問題を考える⑥

先日、その結果を知らせてくれました。堺市の負担割合は十五・七五%でダントツです。二位は北九州市の十四・四三%、三位は札幌市の十四・二七%、四位は大阪市の十三・九七%、五位

の調査依頼があり報告

負担率もダントツ!

入者一人当たり平均一

万四千四百五十円を一般会計から基準外繰り入れを行っていません。堺市も同様に繰り入れれば順位は随分下がります。堺市は一円も繰り入れをしてこなかった結果一番高くなっています。

このほど、堺市の国保加入者の平均所得に占める保険料の負担割合が異常に高いことが判明しました。北九州市議団から、各政令市の平成十八年度の所得に対する保険料の割合についての調査依頼

は、国保加入者一人当たり平均一萬四千四百五十円を一般会計から基準外繰り入れを行っていません。堺市も同様に繰り入れれば順位は随分下がります。堺市は一円も繰り入れをしてこなかった結果一番高くなっています。

同推進室(部相当)は、局長級の理事をトップに二十数人の体制で建築都市局に設置し、各都市に分かれている手続き業務などを一定の権限をもたせて一括して取り扱い短期間に開発をすすめるようとするものです。一方、耐震偽装事件の影響で建築確認申請の手続きに時間がかかり着工が遅れて仕事に大きな影響が出てい

は京都市の十二・八九%、最下位は横浜市の一・三八%でした。この結果を見て北九州市議団から「堺市は何か特別な事情があるのか」と問い合わせがくるほどでした。ちなみに、北九州市

**開設された
堺浜整備推進室(仮称)**

同推進室(部相当)は、局長級の理事をトップに二十数人の体制で建築都市局に設置し、各都市に分かれている手続き業務などを一定の権限をもたせて一括して取り扱い短期間に開発をすすめるようとするものです。

本来、開発に伴うインフラ整備は開発者がしなければならぬことになっていきます。既に営業している堺浜の緊急整備地域は、新日鉄が道路を整備しその後市道に認定して堺市

道路、上下水道などインフラ整備も...

中小建設業者の方から、何故臨海部開発だけを優遇するのかと疑問と怒りの声もあがっています。

十一月一日、堺市はシャープが臨海部に新工場を建設することで、建築確認申請の審査や堺市がやっとうとしてやろうとしている道路や上下水道などのインフラ整備の所管が違う役所の窓口を一つにまとめて、手続きや調整、協議を一括して行う専門部署を設置しました。大企業優遇そのものです。

美木多のみかんも色づきました



大規模開発優先の市政が益々鮮明に!

今回、全部堺市で面倒を見てやるうというのです。しかも、特別な部署までつくって最優先で進めようとしています。民間企業になぜそこまでしなければならぬのか、その理由、費用対効果など肝心なことは市民に説明されていません。

自慢し、その財源を大規模開発につき込もうとしているのです。行財政改革の中身といえは、障害者給付金・難病患者見舞金の廃止や公立保育所民営化、学校給食民間委託、公立幼稚園廃止などを市民に押し付けて職員を大幅に削減するものでした。上下水道・国保・介護保険料は政令市で一番高く、就学援助制度は最低レベル、職員の削減率はダントツ、ラスパイレス指数は低いほうから二位、市民一人あたりの職員数は少ないほうから五位というのが実態です。大規模開発よりも市民の暮らしこそ最優先にすべきです。

農業委員会市外視察

10月23日(火) 農業委員会の視察で

奈良県明日香村に行ってきました。「歴史的風土の保全及び生活環境の整備に関する特別措置法」により開発規制など明日香村だけを対象とする法律が施行され、農業振興を基本に据えた街づくりに取り組んでいる経験を学びました。都市住民に田んぼやみかんの木などのオーナーになってもらい、棚田の再生や遊休農地解消に取り組んでいる様子は前号で紹介した美木多の取り組みと通ずるものがあり感動でした。この経験を活かせば農業が生きつき、みどり豊かな南区の街づくりに希望がもてます。



堺市は、臨海部開発をはじめ堺東駅西地区再開発、鳳駅南地区開発整備など都市再生特別措置法に基づく緊急整備地域の指定を三箇所も受けています。こんな都市は全国でもまれです。市長は、行財政改革の効果により財政の健全化が進んでいると自慢し、その財源を大規模開発につ

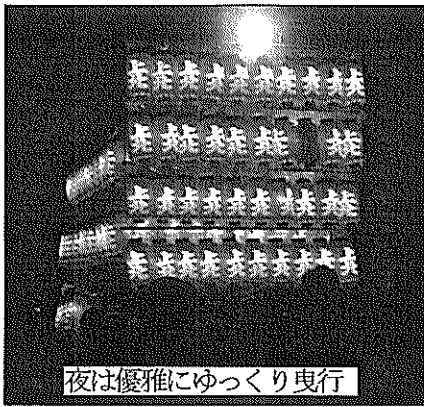
今年もだんじり祭りが盛大に

十月六日・七日は、だんじりや布団太鼓など各地域で秋まつりが開催されました。私の地元では、美福連合（美木多と福泉中央校区）のだんじり祭りが行われ、六台のだんじりが「勇壮」に、そして「優雅」に曳行しました。

まつりは、人と人との関係が希薄になりつつある中で、地域のコミュニケーションやそれを通じた共同や連帯を築くうえで大切な役割を果たしています。一方、相当な労力と費用を要することから発生する様々な問題もあり両面性を持つていると言えます。プラス面を生かしマイナス面を最小限にとどめる努力が大事なのではないでしょうか。



昼は勇壮に迫力満点の曳行



夜は優雅にゆっくり曳行

地域で「タテとヨコ」の繋がり復活を！

私の地元では、一昨年にだんじりを購入し、昨年から本格的に美福連合の祭りに参加しました。同級生や先輩・後輩に久しぶりに会い、地域で中心的役割を果たしている姿に関心し、他の人たちの情報も祭りを通じて色々教えてもらいました。こうした出会いから次のステップが始まるのでしよう。

若者は今……

祭りでは若者のパワーを見せ付けられます。少子化の進行で子供どうし地域で遊ぶ機会が少なくなっただけで育った若者が今、仲間や地域での繋がりを求めて集まってくるのでしょうか。そ

第11回美木多自然祭り

【日時】11月25日(日)午前10時～午後3時
【会場】美木多上自然広場(南区美木多上)
 (特養ホーム美樹の園付近に案内表示あり)

のパワーに圧倒されます。大人たちとの交流を通じて互いに学びあえる関係づくりが大事ではないでしょうか。

歴史と伝統そして文化の観点から……

祭りの歴史や受け継がれた伝統を学ぶことや文化としての観点が重要だと思えます。祭囃子にしても全国各地様々でそのルーツがあるようです。そこで、美木多の祭りはどうかと言われても答えられる人は少ないのではないのでしょうか。みんなで勉強してみるのもよいのでは……私も一度調べてようと思えます。

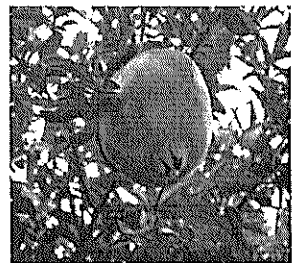
ちよとくつるぎませんが 晩秋のひと時を自然の中で

前号で紹介しました「美木多の自然を守り街づくりを考える会」は、地元の自然に親し



んでもらおうと毎年「自然祭り」を開催しています。地元農家の新鮮な野菜やみかんの直売、芋ほり、模擬店、ミニグライダーや竹馬・おもちゃ作りなど体験コーナー、なつかしのポン菓子の実演販売など多彩です。尚、販売など希望の方はお米を持参くださいとのこと。当会では、農地を守るた

め農家の協力を得て市民農園にも取り組んでいきます。一区画約十五平米(五坪)を年間一万円で借りれます。まつりの当日現地を案内して説明してもらえます。散歩のついでにちよとくつるぎませんがてはいかがでしょう。



我が家のキンモクセイ(金木犀)も満開になり甘い香りを漂わせています。中国南部の桂林地方が原産で、中国語で「桂」は「木犀」のことを指し、木犀の木が多いことから「桂林」の地名になったとか。花言葉は、「謙遜」「高潔」だそうです、小さな花と深い香りからは少しイメージが違いますが、香りは春の沈丁花とならんで強い印象をもちます。皆さんもこの香りに色んな「想い出」があるのではないのでしょうか。高校生の

キンモクセイ



とき生徒会長だった私は「学園祭」の責任者でした。毎日忙しく準備をして無事成功しました。その日、学校を後にしたのはもう夜でした。あたりは暗く静かで、キンモクセイの甘い香りが漂っていました。達成感があるはずなのに何故か寂しさを感じながら駅に向いました。それ以来、キンモクセイは「寂しさ」、沈丁花は「楽しさ」というイメージが心に宿っています。今年も稲刈りをした後の独特の匂いもして、深まる秋の季節を感じています。